

# JR東海労ニュース

No.1181

2008年12月10日

JR東海労働組合

## 許すな！嶋田一味・公安警察によるJR労働運動への敵対！ 「国策弾圧の実体を暴き出し、 労働運動の前進を勝ちとる12.9集会」開催

12月9日、東京地裁で43名の原告団が出席し「スパイ糾弾訴訟」の第1回口頭弁論が開催されました。その後、社会文化会館で「許すな！嶋田一味・公安警察によるJR労働運動への敵対！国策弾圧の実体を暴き出し、労働運動の前進を勝ちとる12.9集会」が約700名の組合員が結集し開催されました。

嶋田ら9名が、JR総連・JR東労組の組織破壊を目的にデッチ上げた、革マル派「43人リスト」なる資料を西岡記者や警視庁公安部に渡し、この資料を引用し「週刊現代」に記載されたことなどは、名誉毀損、プライバシーの侵害であると同時に、JR総連・JR東労組を破壊する不法行為として、総額1億円の損害賠償を求め9月22日に訴えていました。公判では小田前総連委員長、石川前東労組委員長、千葉東労組委員長、鎌田総連書記長が意見陳述を行いました。報告集会では、裁判闘争を勝利し嶋田一味らによる組織破壊を許さず、JR労働運動の前進を勝ち取るために奮闘していくことを確認しました。また同じく組織破壊者である福原元総連委員長を12月8日、名誉毀損として訴えた報告がありました。

この裁判は、組織の団結を守り強化するための闘いです。JR東海労から4名が原告として闘っています。43名の原告団と共に裁判闘争勝利、組織破壊を許さず職場から闘っていきましょう。第2回公判は、2月18日です。



**JR総連・JR東労組に対する国家権力の弾圧を粉碎しよう！**  
**嶋田一味作成「でっち上げリスト」・スパイ糾弾訴訟勝利！**